

# 訪問リハ開始

すずらん病院

登別すずらん病院（青葉町、志田一彦理事長）は4月から、訪問リハビリテーション「すずらん」を開設、

サービスを開始した。在宅ケア充実に向けた役割発揮が期待されている。20代の若手2人の提案が



訪問リハを担当する高橋さん（右）と杉本さん

きっかけだった。担当する作業療法士の高橋智昭さん（29）、理学療法士の杉本尚陽さん（27）。

同院は療養病院として地域貢献するが、「院内リハで回復する患者たちの姿にやりがい」を感じていた2人が、在宅ケア推進という大きな流れの中、訪問リハの必要性を訴えた。

訪問リハでは「家でつまずきやすくなった」「車いすへの乗り移りの介助が大変になった」など在宅生活での悩みに対し、療法士が訪問し、直接的な練習や助言を行っている。2人は

「院内と違い、在宅では生活全般のコーディネートを意識する」と話し、「『できること』を引き出せば、寝たきりから脱するケースも出てくる」と張り切る。

訪問リハ管理者の高橋さんは「問い合わせも多く、訪問リハを必要としている人の多さを再認識しています。地域で長く生活ができることが重要になってきており、お手伝いできれば」と抱負を語っている。

（鞠子理人）